

諫干開門とは～調整池内の水質浄化

「開門したら海が汚れる」は完全な誤解 今、汚水垂れ流しの状態

最近、一部の議員や首長から「諫干早水門を開放したら、調整池の汚濁水が有明海に流れ出し漁業に悪影響が出る」との発言が見られます。

しかし、これは完全に誤解に基づくもので、今、現在、毎日、水門が開けられ大量の汚濁水が有明海に垂れ流されています。漁民らが求めている開門は、一方的に調整池の汚濁水を流す今の開門方法ではなく、海水を調整池に流入させて調整池内の水を浄化し綺麗になった水を有明海に返すというものです。

したがって、開門が実現したら、これ以上に汚濁水が垂れ流されることなく、漁業への悪影響が現在よりも緩和されるのです。原告団は、原告らが求める開門を「諫干湾の海水を調整池に流入させ、海水交換ができるよう開門操作すること」（訴状）と定義しています。

諫干の開門調査、実施されるの？

【毎日(なるほドリ) 3月4日】

漁業、営農者溝埋まらず

農水省委の政治的決断必要か

Qなるほドリ 国営諫干拓事業

(諫干)で、潮受け堤防の排水門開門を反対してきた諫干湾内3漁協の一つ、瑞穂漁協(68人)が開門に方針転換したけど、どうして？

A記者 漁獲量の減少があります。諫干湾では97年にあつた潮受け堤防閉め切り前では、高級二枚貝タイラギなどで年間の水揚げが1000万円を超える漁師もいました。それが、タイラギは17年休漁中です。悲観して自ら命を絶つ沿岸漁師もいたほどです。

Q それならどうして開門に反対してきたの？

A 湾内漁協は開門したら、調整池の多くの淡水が湾内に流れ込み、漁場が一時荒れるとの主張をしていました。それなのに、通常排水程度でも漁民にとっては耐えられない状況になっているようです。

Q 通常排水って？

A 調整池には諫干市の河川から流れる水がたまり続けます。調整池は防災効果を保つため一定の水位で管理されます。このため、調整池の水を、日常的に流さないといけないのです。

Q どれぐらい流れるの？

A 梅雨期であれば、1日に700万〜800万トンの淡水が流れる日もあります。調整池で発生するアオコも含むため、魚にとっては「毒水」だと訴える漁師もいるんです。

流れ出す淡水で、魚は生息できず、網にはへドロだけが絡まるとい人もいます。

Q 開門すると良くなるの？

A 開門調査の目的は、5年間排水門を開け、調整池を海水にしたうえで、有明海異変との因果関係を調べることです。国と漁民、開門を求める裁判をしている原告弁護団の間で漁場が「荒れる」「荒れない」と言い分は分かれています。ただ、通常の排水で漁場が荒れ続けるのですから、瑞穂の漁師たちは開門調査に願いを賭けたのでしょうか。

Q 今後はどうなるの？

A 干拓地の営農者には塩害などで反発の声が根強く、双方の溝が埋まる心配がありません。農水省内で開門の是非を検討する検討委員会が立ち上がり、1、2カ月をめどに結論を出します。双方の意見を十分に聞き、一刻も早い政治決断を求め声も出ていますね。

諫干湾干拓事業の影響を指摘 佐賀大学

【NHK佐賀・3月21日】有明海の環境変化やその周辺地域の文化・経済などを研究してきた佐賀大学の有明海総合研究プロジェクトが21日5年間の研究成果を発表し諫干湾干拓事業が有明海の環境に影響を与えた可能性を指摘しました。

「有明海総合研究プロジェクト」は大学教授などが5年間にわたって有明海の環境悪化と改善策や周辺の文化、経済について研究を続けてきたもので佐賀市の佐賀大学で行われたきよりの発表会にはおよそ100人が集まりました。

このうち佐賀大学の速水祐一准教授は有明海でタイラギなどの二枚貝の漁獲が減少したり、赤潮の被害が出ていることなどについて触れました。

これについて速水准教授は、諫干湾干拓事業による堤防ができてから、以前は諫干湾の中に運ばれていた泥が太良町沖の周辺に堆積し貝類が生息しづらいう環境になっていると述べ干拓事業が影響を及ぼしている可能性が高いと説明しました。

また、長崎県の島原半島沖でも諫干湾干拓事業をきっかけに海水の変化が見られ干拓事業は諫干湾の外には影響がないとしていた国の主張は観測データとシミュレーションによって否定されたと述べました。

【訂正】国会通信第89号(3月14日発行)の高橋徹教授の肩書が「熊本県立大学衛生技術学科」となっていました。正しくは「熊本保健科学大学衛生技術学科」の誤りでした。関係者の皆様にご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。